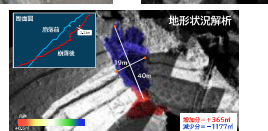
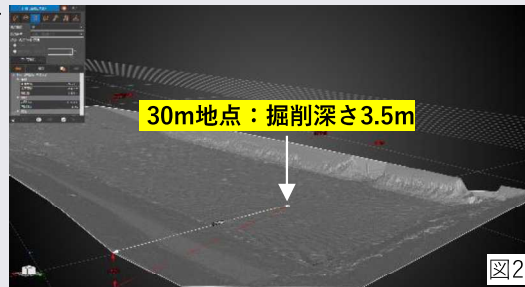
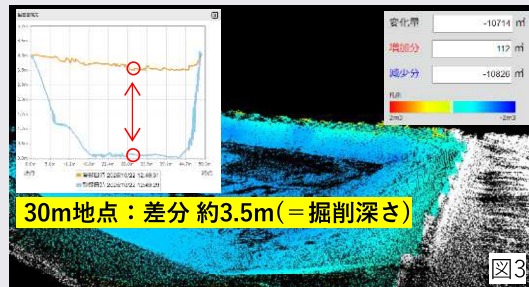
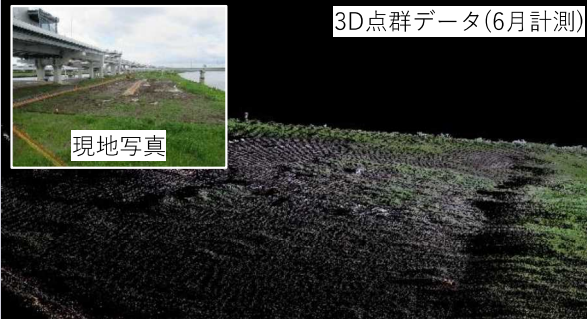


現場実証概要(令和7年現場実証結果)

技術名	3D点群データを活用した変状把握技術													
技術概要	本技術は、屋外3Dスキャナー一体型カメラ(以下、FV)で取得した3D点群データを解析(自動または任意)し、時系列の地形状況変化を視覚的・定量的に把握するものである。 特長として、①国土交通省CCTVカメラ標準仕様に準じた制御が可能であり、空間監視用CCTVカメラ／3D点群データ計測用装置としての併用が可能。②IPネットワークを介した監視制御が可能であり、危険な現場に赴かずとも遠隔からの状況把握が可能。③レーザ計測開始から地形状況解析まで最低40分程度で完了。【NETIS登録番号】KT-240123-A		三菱3Dセンシング機器 屋外3Dスキャナー一体型カメラ (Field Viewer®)  + 地形状況解析機能(三菱3D点群データ解析機能) 画像データ 3D点群データ  地形状況解析 屋外常設＋定点自動計測 手動またはスケジュールによる自動解析											
実証結果	6月と9月に「R6荒川下流左岸西小松川町地区高水敷掘削他工事」(以下、土木工事)の施工地点を対象とした3D点群データをFVにて取得し、解析処理を行うことで約3か月間における地形状況の変化を確認した。解析結果は図3のとおり。妥当性評価を行うため土木工事の出来形データ(任意断面の高さ)(図2)と比較し、ほぼ誤差なく計測(解析)できていることを確認した。		 30m地点：掘削深さ3.5m 図2  30m地点：差分 約3.5m(＝掘削深さ) 図3											
現場実証状況	 3D点群データ(6月計測)  現地写真  実測風景  3D点群データ(9月計測)  現地写真  実測風景													
問合せ先	<table><tr><td rowspan="2">開発団体名</td><td colspan="2">三菱電機株式会社</td><td rowspan="2">担当者</td><td rowspan="2">井出 卓磨</td><td rowspan="2">TEL</td><td rowspan="2">070-7487-5598</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>					開発団体名	三菱電機株式会社		担当者	井出 卓磨	TEL	070-7487-5598		
開発団体名	三菱電機株式会社		担当者	井出 卓磨	TEL		070-7487-5598							